

「南河内の縄文遺跡を探る」展

主催 大阪府教育委員会 (公財)大阪府文化財センター 大阪府立狭山池博物館

会期:平成29年12月6日(水)~平成30年1月21日(日)

発掘調査の開始から、今年で100年目を迎える藤井寺市国府(こう)遺跡では、大阪府教育委員会の調査で縄文時代前期の土器と石器が発見されています。また富田林市錦織南(にしごおりみなみ)遺跡からは、東北地方の影響を受けた縄文時代晩期の土器が発見されるなどの成果があがっています。

さらに公益財団法人大阪府文化財センターが発掘調査を担当した、松原市三宅西(みやけにし)遺跡からは、縄文時代後期中頃の土器と石器が多数出土しています。

これらの出土資料を展示・公開し、南河内地域の主要な縄文遺跡の姿を広く府民の皆様に紹介させていただきます。



国府遺跡発見の埋葬人骨(縄文晩期)

会場:大阪府立狭山池博物館

常設展示室 第5ゾーン

入館無料



錦織南遺跡出土の東北系土器(縄文晩期)

講演会「南河内の縄文遺跡を探る」

日時:平成30年1月13日(土)午後2時~午後3時30分

講師:大阪府教育庁 文化財保護課 主任専門員 渡邊 昌宏

場所:大阪府立狭山池博物館 2階ホール

※参加費無料 定員126名(当日先着順)